

授業科目 在宅看護学演習

【担当教員名】		対象学年	2	対象学科	看護
丸山 敬子		開講時期	後期	必修・選択	必修
		単位数	1	時間数	30
【＜概要＞又は＜一般目標：GIO＞】 在宅看護の役割は、地域で療養する人とその家族の健康生活への援助であり看護独自の機能を果たすとともに、関係職種と協調していくことである。また、在宅看護の一方法である家庭訪問においては、在宅看護過程の特徴を明確にし、生活支援と医療処置の必要な療養者と家族の看護についてその方法を理解する。					
【＜学習目標＞又は＜行動目標：SBO＞】 1 療養者と家族が安心して生活するための環境について説明できる 2 セルフケア能力と家族の条件を考慮した生活支援技術を説明できる 3 医療処置を必要とする在宅療養者および家族への援助を説明できる 4 在宅看護における家庭訪問の意義を述べることができる。 5 在宅看護過程の特徴を述べることができる					
回数	授業計画又は学習の主題	SBO			
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員		
1	在宅看護における生活支援の考え方と実際	1・2	講義		
2			演習		
3	医療処置が必要な療養者への支援の考え方と実際	1・3	講義		
4			演習		
5	医療処置が必要な療養者への支援の考え方と実際	1・3	講義		
6			演習		
7	在宅看護看護過程とコミュニケーション技術・観察技術	1・5	講義		
8			演習		
9	事例展開	1～5	演習		
10			演習		
11	事例展開	1～5	演習		
12			演習		
13	事例展開	1～5	演習		
14	まとめ		発表		
【使用図書】		＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格・その他＞
教科書 (必ず購入する書籍)		Essentials 在宅看護学 木下由美子 医歯薬出版株式会社 2007 2600			
		スキルアップのための在宅看護マニュアル 角田直枝 学習研究社 2005 2000			
		慢性呼吸不全の包括的呼吸ケア 木田厚瑞 南江堂 2007 3000			
参考書		必要に応じて配布する			
その他の資料					
【評価方法】 出席・演習参加態度・提出物40% レポート60%		【履修上の留意点】			